

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	原村ペンション地区活性化事業
事業主体 (連絡先)	<u>Haramura ASJ</u>
事業区分	6ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	659,097円 (うち支援金: 517,000円)

事業内容

高齢化が進み地域力が減少し、観光地として冬場の閑散期が課題の原村ペンション地区に活気を取り戻すため、地区内を周遊できるイベントと、冬季イベントを開催した。

- ・10月15日(日)
おさんぽフェス
- ・2月4日(日)
冬のクラフトマーケット
八ヶ岳自然文化園



【冬のクラフトマーケット】

【目標・ねらい】

- ① 地区を知ってもらう
- ② 地区の住民参加
- ③ 関係人口の増加
- ④ 観光客の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①多くの方が地区内に足を運んでくれた。
- ②ペンション18店、テナント17店の参加があった。
- ③始めて来区した方も多く、来年の開催について質問を受けるなど、今後についても関心を持ってもらった。
- ④地区独自のイベントとして100名以上が訪れた。

※自己評価【A】

【理由】

- ・店主、客の双方が楽しめ、景品や商品が品切れになるなど多くの人が訪れた。
- ・冬季のイベントが安定して開催開催できるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

イベント名も認知されるなど注目度を集められるようになり、今後、継続して開催していける足掛かりができた。

今後、他のイベントとの連携や、地区の要望などを吸い上げることで集客だけでなく、店舗側も満足度の高いものとしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある